

高知県移住就業ポータルサイト及び顧客管理システムの構築・運用提案業務 仕様書（案）

1 業務名

高知県移住就業ポータルサイト及び顧客管理システムの構築・運用提案業務

2 業務期間

契約締結日から令和3年3月31日まで

3 業務目的

高知県産業振興計画で目標とする年間移住者数 1,300 組の達成と定常化に向けて、現在の年間移住者数 1,000 組から、今後4年間で300組の移住者を増加する必要がある。

そこで、高知県の仕事や暮らしの情報を発信する web サイトを充実強化することで、高知県への U I ターン希望者へのサポートを充実するとともに、web サイトの訪問者に対して高知県の移住や就業の興味関心を高め、最終的に高知県への U I ターンのニーズを顕在化させるなど、継続的に高知県への移住者の確保を図ることができる機能や仕組みを実装したポータルサイト及び顧客管理システムを構築することを目的とする。

4 業務内容

高知県移住促進・人材確保センター（以下「センター」という。）が運営する現行の移住ポータルサイト高知家で暮らす（以下「現行サイト」という。）及び求人サイト高知求人ネット（以下「現行求人サイト」という。）のシステムを刷新し、高知県の仕事や暮らしに関する情報を一体的に発信する新たな移住就業ポータルサイト（以下「新サイト」という）及び職業紹介事業専門の求人サイト（以下「新求人サイト」という。）として再構築すること。

- ・新サイトの K G I は、新サイト内のフォーム等からセンター及び市町村へ相談申込が行われる数（新サイトのフォームから、相談申込完了または会員登録申込完了の数）とし、年間 2,600 件と設定すること。
- ・新サイトは、サイト訪問者に対して利便性の高いサービスを提供するだけでなく、新サイトで提供されるサービスを利用していくうちに、センター及び市町村の相談窓口の相談窓口相談をしたくなるような、サイト訪問者を潜在層から顕在層へと押し上げ、高知県への移住や就業に向けた行動を喚起させる新たな機能または仕組みを必須で設けること。（本仕様書 12 ページ「(参考資料) 新サイト構築の背景等 4 新サイトに求めるもの」を参照のこと）
- ・また、会員登録は、移住確度の高い方が多く登録するような機能や仕組みが設けられており、単に会員数を増やすものではないことに留意すること。

※会員登録は、現在の移住者向け「高知家で暮らし隊会員」と、職業紹介事業の求職者向け「高知求人ネット求職者登録」とする。

具体的な業務は、下記の各項目の要求を満たすシステムの構築及び業務を遂行すること。

- (1) 新サイトの構築（ポータルサイト及び顧客管理システムの構築）
- (2) 新規相談者を継続的に確保していくための新サイトの運用提案
- (3) 新サイトの事業効果をより高めていくための拡張提案
- (4) 新サイトの操作研修の実施及びマニュアルの作成

(1) の概要

以下①～⑧に対応し、業務目的及びK G I を達成できる新サイトを構築することとし、詳細はセンターと協議のうえ設定すること。

①新サイト

- ・センターや市町村の相談窓口への申込を行動喚起させることや、移住確度の高い方を会員登録に誘導することができるような、サイトのデザインや設計、システム上で提供される機能を実装すること。また、サイト訪問者が迷わずに求める情報にたどり着き、さらに関連する情報や興味をもたせる情報をわかりやすく提示することなどにより、高知県への移住の価値を感じてもらえるようユーザエクスペリエンスを重視した設計を行うこと。
- ・新サイトのコンテンツは、現行サイト「高知家で暮らす <https://kochi-iju.jp>」と、現行求人サイト「高知求人ネット <https://kochi-jinzai.jp>」で提供される機能やサービスを踏襲してサイト構築を行うこと。（現行サイト及び現行求人サイトの全てを網羅する必要はなく、本業務の目的に則って廃止するものもある。）なお、新求人サイトは、現行の高知求人ネットを、センター指定の人材紹介システム（株式会社ブレインラボ「マッチングッド」）と連携する形で再構築すること。
- ・新サイトは、商用のクラウドサービス（PaaS、SaaS 等でワードプレス等のオープンソースで開発するサービスも含む）をベースに、単体または複数のサービスを組み合わせで構築されたもので、構築後はサーバの保守も含めてサービス提供されること。
- ・新サイトのページの作成更新等は、センター以外に、市町村や企業・団体なども利用できること。
- ・サイト内の全コンテンツを対象に、項目指定やフリーワード等で、自由度の高い検索が可能であり、検索結果は視認性が高く表示できること。
- ・モバイル端末で快適な閲覧・操作が可能な設計がされていること。
- ・S E O対策に適したサイト設計や、アクセス解析に適したサイト設計が行われていること。
- ・サイト内で、以下の機能を実現すること。（各ページの構成は別紙1のサイトコンテンツ例、別紙2のシステム概念図、現行サイト、現行求人サイトを参照すること）

（暮らし）

市町村が移住者インタビューや生活関連情報、支援情報等を掲載できること。サイト訪問者は多様なニーズに応じて検索できること。

(住まい)

市町村が空き家バンク情報を掲載できること。サイト訪問者はエリアや物件特徴などで検索でき、問い合わせができること。

(イベント、移住体験、Uターン向け)

市町村がイベント、お知らせ等を掲載し、情報を集約して自動的にリスト表示（またはカレンダー表示）できること。サイト訪問者はエリアやテーマなどで検索し、フォーム等を通じて予約申し込みができること。

(就職)

企業・団体が就職ページ（新求人サイトと連動するページ）に掲載する求人情報の作成管理等ができること。サイト訪問者は、求人情報をエリアや職種などで検索し、求職者登録・応募（問い合わせ）ができること。

(地域の仕事、短期の仕事)

市町村が就職以外の地域の仕事（一次産業や継業等）や短期の仕事に関する情報を掲載できること。サイト訪問者は、多様なニーズに応じて検索でき、応募・問い合わせができること。また、サイト訪問者は、地域の仕事、短期の仕事、就職の情報をまとめて横断検索ができること。

(特集ページ、ランディングページ)

センター及び市町村がサイト内のコンテンツを特定のテーマや切り口などで分類し、サムネイルやタイトルなどで一覧表示するような特集ページや、web 広告などからのランディングページを自由に作成できること。

②サイト管理者（センターのシステム管理者）

- ・サイト運営者の属性に応じてページ作成の権限を管理できるよう、自由度の高いワークフローの設定が可能であること。（複数の組織が利用することを前提とした、グループ設定、承認者の and or 条件等の設定が可能なこと）
- ・サイト運営者が作成したイベント情報やお知らせ等の一覧表示（またはカレンダー表示）がサイト上に自動生成されること。
- ・サイト運営者及びサイト利用者のアカウント発行、パスワードの変更・再発行の手続き等において、サイト管理者の労力を減らす仕組みがあること。
- ・その他、サイト管理者の業務効率化を図る機能や仕組みを設けること。

③サイト運営者（センター、市町村等のコンテンツ制作者）

- ・ページの作成更新が、直感的な操作で利用できること。
- ・ページの公開予約、公開期間の指定ができること。
- ・ページの更新履歴の保存・復元などが行え、またページの再利用ができること。
- ・web アクセシビリティ規格に準拠したチェックが可能であること。
- ・テンプレートを活用してページを作成できること。また、テンプレートはカスタマイズ可能であること。

- ・問い合わせフォームやアンケートフォーム等が自由に作成でき、カスタマイズもできること。
- ・新サイトのコンテンツ等を市町村等の外部サイトに表示できること（事例：市町村が新サイトで作成した移住者インタビューや空き家バンクなどのページを、市町村管理のホームページに掲載するようインラインフレーム用にHTML埋め込みコードを生成するなど）。また、外部サイトのコンテンツやSNS情報を、新サイトのページ内に表示できること。
- ・その他、サイト運営者の業務効率化を図る機能や仕組みを設けること。

④新求人サイト

- ・人材紹介システムの株式会社ブレインラボ「マッチングッド」の求人情報や求職者情報のデータベースとAPIで連携する公開画面を設けること。公開画面には視認性の高い形で求人情報の一覧やピックアップ求人等を掲載し、サイト訪問者が求人情報の検索、応募の管理等を行うことのできる機能を設けること。
- ・企業・団体や求職者が利用する入力フォームでは、系統的に不適切な入力を最小限に抑えること。
- ・企業・団体が利用する公開画面には、IDパスワードなどの認証要素を通じて利用する入力フォーム（企業情報の登録・更新、求人情報の登録・削除・複製・一覧表示・詳細表示・選考状況表示等）を設けること。
- ・求職者が利用する公開画面には、求職者情報の登録・更新、求人情報の検索、応募等ができる入力フォームを用意すること。また、必要に応じてIDパスワードなどの認証要素を設けること。
- ・求職者や企業・団体が、公開画面の入力フォームで登録・更新した際に、サイト管理者が指定するメールアドレスに通知するなど、センターへの通知機能を設けること。
- ・企業情報及び求人情報には複数の画像の挿入等が可能なこと。また画像の容量が大きい場合には登録時にリサイズすること。
- ・求人作成の標準的なテンプレートは2種類用意すること。具体的には、必須項目を最小限として簡単に求人が作成できる「かんたんモード」（必須10項目程度）と、内閣府地方創生マッチング支援事業で定める項目（必須40項目程度）で求人を作成する「移住支援金モード」を、チェックボックスなどを用いて切り替えができるようにすること。また、移住支援金モードで必要となる法人番号は、国税庁法人番号公表サイトなどと連携して企業名等から法人番号を検索できるようにすること。
- ・その他、求職者や企業・団体の利便性の向上を図る機能や仕組みを設けること。

⑤顧客管理システム

- ・センター相談窓口の業務の効率化が図られることを前提とした、会員の情報を管理するデータベースシステムであること。また、センター相談窓口の複数の担当者を割り当てが可能なほか、管理項目がカスタマイズ可能なこと。

- ・会員に対して、個別及び一斉にメール送信できること。また、顧客管理データベースに登録された個人属性等により送信先が選択可能なこと。
- ・会員の重複登録を防ぐ機能または仕組みを設けること。
- ・新サイトのフォーム等からの予約申込(移住相談、イベント参加等)が管理できること。
(この申込を管理するデータベースと、会員を管理するデータベースは同一である必要はなく、別々のシステムに分けて運用することは可とする。)
- ・顧客管理システムの内容を、項目を選択して外部に出力(エクスポート)できること。
また、データの取り込み(インポート)が可能なこと。
- ・アクセスログ等のデータ分析が可能であること。また、分析結果をランディングページや会員登録への導線の改善作業などに活用できること。
- ・その他、顧客管理システムを有効活用して、センターまたは市町村の業務の効率化や生産性向上につながる機能や仕組みを設けること。

⑥独自提案(サイト訪問者への提案の最適化等)

- ・サイト訪問者のニーズを引き出し、そのニーズに応じた情報を自動的に提示することで高知への興味関心を高め、市町村やセンターの相談窓口への問い合わせを誘発させるような機能や仕組みを設けること。
- ・移住確度の高い者を会員登録へと誘導することや、将来の移住の可能性がある者に対して移住の確度を高め会員へと誘導することなど、想定されるターゲットを複数設定し、それぞれのターゲットに最適な導線となるように設計すること。
- ・サイト訪問者のニーズに応じて、市町村の関連ページ(コンテンツ)を表示するなど、市町村の作成するページ(コンテンツ)が埋もれないようにする機能や仕組みを設けること。
- ・その他、新規相談者や会員を確保することを目的とした、サイト訪問者への利便性の向上や、新サイトへの再訪、新規訪問などが図れる機能や仕組みを設けること。

⑦サーバ、情報セキュリティ

- ・ディスク容量が拡張可能な運用保守サービスであること。(初期設定 30GB 程度を想定)
- ・独自ドメインが利用可能なこと。またサーバ証明書の設置が可能なこと。
- ・外部からの不正アクセスやデータ改ざん等への対策を講じていること。
- ・システムの応答時間は、一時的な集中アクセスを除き、利用者にストレスを感じさせない十分なレスポンスを確保すること。また、サーバの増強が必要な場合に対応できること。(現行サイトは一日平均 1,000 セッション、現行求人サイトは一日平均 800 セッション程度、新サイト・新求人サイトも同程度を想定)
- ・サービス品質保証制度(SLA)またはそれに類するものを設定すること。

⑧API連携・外部データ連携

- ・株式会社ブレインラボ「マッチングッド」の API により、新サイトと求人情報等のデ

ータ連携が可能なこと。また、内閣府地方創生マッチング支援事業で定める API により、「マッチングッド」と国指定の求人サイトと求人情報等のデータ連携が可能なこと。
(API 仕様は、プロポーザル企画提案書作成要領の 7 で定める方法により希望者のみに提示する)

- ・ハローワーク求人情報が A P I または CSV で、新サイトに取り込み（インポート）が可能なこと。また、福祉人材センター・バンクの求人情報が CSV で、新サイトに取り込み（インポート）が可能なこと。

(2) の概要

- ・令和 3 年度以降に経常的に発生すると思われる新サイトの運用保守経費（通常のランニングコスト）の範囲内で、センター自身が新サイトを運営し、事業効果を高めていくための標準的な運用方法について提案すること。
- ・仮に 1,000 万円の有料広告を投資していく場合の、モデル的な運用方法について提案すること。なお、有料広告がセンター直営契約ではなく、業者への運用委託の場合は、「(3) 新サイトの事業効果を高めていくための拡張提案」として提案すること。

(3) の概要

- ・今回の提案をもとに構築される新サイトの機能以外で、拡張機能やサーバの新設等、本業務の目的達成をより高められると考えられる追加投資について、オプション機能として提案すること。

(4) の概要

- ・新サイトの操作研修等に関して、運用開始前に市町村向けに 6 回程度のオンライン研修を実施すること。なお、センターの担当者には、随時レクチャーを行うこと。
- ・新サイトのマニュアルを作成すること。なお、新サイトを利用する立場に応じて、管理者用、運営者用、求職者用、求人企業団体用を作成すること。

特記事項

- ・新サイトの運用開始は令和 3 年 3 月下旬までに行うこととするが、センターや市町村等が、テンプレート等を活用した入力作業や研修を行うためのテスト期間（令和 3 年 2 月～3 月中旬頃）を設けた開発スケジュールとすること。
- ・現行サイト及び現行求人サイトから、新サイト及び新求人サイトへのコンテンツの移行作業は限定的であり、受託者が新サイト上で作成するコンテンツは、受託者の独自提案部分を除き、新サイト及び新求人サイトのトップページと下層の主要ページ及びサンプルを基本とする。現行サイトの移住者インタビューやコンシェルジュ活動報告、過去のイベントなど個々のコンテンツは、センターにおいて研修を兼ねて移管作業を行うことを想定している。
- ・株式会社ブレインラボ「マッチングッド」側で発生するアカウント使用料及び API 利

用料は、本業務の経費に含まない。

- ・API 設定についてはマッチンググッドの運用業者及び内閣府が指定する事業者等と調整のうえ実施すること。
- ・新サイト及び新求人サイトのドメイン管理料及び証明書に関する費用は、本業務に含まない。
- ・センター及び市町村は、google アカウントを有しており、現在開催しているオンラインイベント（高知暮らしフェア及び高知・就職転職フェア）では、クラウドサービスの TimeRex 及び調整さんカレンダーを利用して、オンライン相談の受付を行っている。今回の提案ではこうした既存の商用サービスを複数組み合わせることは可能であるが、その場合は、新サイト本格稼働後の運用を踏まえて効果的・効率的なものを選択すること。

参考URL <https://timerex.net/>

参考URL <https://kochi-iju.jp/lp/kurashifair2020online/>

5 成果品

(1) 内容

次に掲げる項目を基本に、センターと協議のうえ指定された期日までに納品すること

- ・新サイト開発着手時の書類（企画概要(事業戦略)、実施体制、スケジュール）
- ・新サイト開発完了後の書類（CMS 及び顧客管理システムの概要図、提供機能、構造設計、サイトマップ、テンプレート、データベース項目等）
- ・打合せ議事録（対応後速やかに提出する）
- ・テスト運用及び本格稼働後の運用レポート
- ・研修結果報告（テキスト、アンケート集計結果等）
- ・新サイトの操作マニュアル、運用マニュアル
- ・その他、センターが指定する書類

(2) 形式等

- ・書類（紙媒体）は、A4 版縦長横書きを基本とし、日本語表記のもの 2 部（原本 1 部、複写 1 部）を提出すること。
- ・電子ファイルは、ウイルス検査実施により安全性が確認された DVD-R 等により 2 部を提出すること（ファイルフォーマットは、Microsoft Office、AdobeReader に対応できるデータ形式とする）。

(3) 納品場所

一般社団法人高知県移住促進・人材確保センター

（高知市本町 4 丁目 1 番 3 2 号 こうち勤労センター 5 階）

6 その他の留意事項

- (1) 本業務の実施にあたっては、実施内容を事前に協議するなど、センターとの緊密な連携のもと、迅速かつ効果的・効率的な遂行を心がけること。
- (2) この仕様書に定める事項について疑義が生じた場合、または、この仕様書に定めない事項については必要に応じてセンターと受託者が協議のうえ定めるものとする。
- (3) 本業務を円滑に遂行するため、センターは受託者に対して業務の進捗状況について報告を求めることができる。

(参考資料) 新サイト構築の背景等

本業務の背景や新サイトの目標値、ターゲットの仮設定や移住達成のモデルなど参考情報を以下に示しますが、提案にあたっては、ここで記載されたものにこだわることなく、事業効果を最大限に発揮するものをご提案ください。

1 用語の定義

(1)新サイト（（仮称）高知しごと・くらしネット）

- ・高知県移住促進・人材確保センター（以下「センター」という。）と市町村が利用できるポータルサイト機能と、センターが行う移住相談の相談履歴の管理やサイトの運用改善等を効率的に行うことのできるデータベース機能を含めたシステム群のこと。
- ・新サイトのコンテンツは、現行の移住ポータルサイト高知家で暮らす（以下「現行サイト」という。）に掲載された情報に、求人サイト高知求人ネット（以下「現行求人サイト」という。）内の「一次産業・多様な働き方」を組み合わせたイメージ。
- ・新サイトの構成は、ユーザエクスペリエンスを重視したデザインや導線設計がなされており、SEO対策の最適化が図られたもの。
- ・現行サイトは、センターがコンテンツの作成・管理・運営を全て行っていたが、新サイトでは県内全市町村がアカウントを有し、各自市町村がコンテンツ（イベント、仕事、支援制度、空き家情報等）を自由に更新する。

(2)顧客（仮設定）

- ①【顕在顧客】高知県への移住を真剣に検討しており、具体的な情報を求めている層
- ②【顕在層】地方暮らしには関心があり、具体的な移住先を比較検討している層
- ③【準顕在層】生活環境を変えたいと思っているが、現時点で移住までは考えていない層
- ④【潜在層】現時点では移住の関心や生活を変えたいと考えていないが、将来的に移住につながる可能性のある層
- ⑤【Uターン関係者】高知県外在住の高知県出身者、または高知県出身者が同居する世帯
- ⑥【会員】センターが、顧客への相談対応をきめ細かに対応するために設けた制度。新規に会員となった者を新規相談者という。現在、高知県とセンターが運営している「高知家で暮らし隊会員制度」、高知求人ネットの求職者登録に相当する。
- ⑦【メールマガジン会員】定期的にイベント情報や新規求人情報を届ける制度。

(3)顧客管理システム

- ・センター相談窓口の業務で活用するもので、顧客との面談記録の管理を行うデータベースのこと。（事例：顧客との接点で得た情報やセンターの対応方針など記録するほか、対応漏れがないように各担当の割り当て、顧客へのメール送信などを行う機能など）
- ・また、新サイトのアクセスデータの蓄積や分析により、顧客の開拓や育成などの施策の実施及びサイトの改善等に活用できる機能を含む。

(4)新求人サイト（現在の高知求人ネットに相当）

- ・センターが法に基づき無料職業紹介事業（主に正規雇用または1年以上の有期雇用の企業就職）を行うために、センターに申込のあった求人企業と求職者とのマッチングを行うサイトのこと。
- ・求人情報と求職者情報は、センターが指定する SaaS 型の人材紹介システム（株式会社ブレインラボ「マッチングッド」）に格納され、新求人サイトの公開画面と人材紹介システムは自動連携する。センターと対企業、対求職者の業務は、この人材紹介システムで直接やりとりされる。
- ・コンテンツ構成は、現行求人サイト「高知求人ネット」内の「一次産業・多様な働き方」を除いたもので、かつ「キャリアを活かす」を充実させたイメージ。
- ・サイト構成は、求職者向けと企業・団体向けのページが分離されていること。また、ユーザエクスペリエンスを重視したデザインや導線設計がなされており、SEO 対策の最適化が図られたものであること。
- ・求人情報がなくても、企業情報のみ掲載することが可能であること。
- ・学生ページ (<https://kochi-jinzai.jp/student/>) は、高知県が管理する別のシステムで運用されており、新サイトとはバナーリンクによる連携を想定。

(5)サイト運営者

- ①【サイト管理者】新サイトの全体の管理権限を有する者。センターのシステム管理者。
- ②【サイト運営者】新サイト上のコンテンツを作成するセンターの職員。
- ③【サイト運営補助者】新サイト上のコンテンツを作成する市町村等。

(6)サイト利用者

- ①【サイト訪問者】新サイトにアクセスする者。
- ②【求職者】新求人サイトにアクセスする者。
- ②【求人者】求人募集を行う企業・団体等。

2 背景

- ・センターは、高知県をはじめ、県内全市町村、産業団体を社員（構成員）とする一般社団法人で、地域地域の活力の維持や発展に寄与することを目的に、高知県へのUターン・Iターン施策と各産業分野の担い手確保策と連携した取り組みを行っている。
- ・高知県では、他県に先駆けて移住促進策の抜本強化を図り、平成26年度からその取組に力を入れてきたが、近年では全国各地で移住の取組が行われ競争が激化している。
- ・こうした状況で高知県への移住者を増やすためには、他県とのパイの取り合いではなく、わざわざ高知県を選んでいただける方々を全国各地から掘り起こし、高知県への移住に向けた具体的な行動を起こしていただけるような仕組みが必要である。
- ・そのためには、高知県への移住に関する潜在層には気づきを与え、また顕在層に対しては各々が求めている情報を着実に届けていくことが重要であり、こうした取り組みを堅実かつ継続的に行うことが必要である。

- ・センターでは現在、現行サイト（高知家で暮らす）と、現行求人サイト（高知求人ネット）を運用中で、google アナリティクスによるアクセス分析などによる運用改善を行っているが、両者ともシステムの設計が古くコンテンツの制作に時間がかかるほか、相談者への対応が自動化できていないなど、効率的な事務運営ができていない。また、相談履歴を管理するデータベースも設計が古く、ポータルサイトとの連携に制約がある状況である。
- ・そこで、本業務では、これら2つのサイトと、顧客管理等の業務システムを含めたリニューアルを行うこととし、サイト訪問者の役に立つ情報をタイムリーに提供していくとともに、センターと接点をもたれた方々への対応の質の向上を図っていきたいと考えている。
- ・また、高知県が推進する”志移住”（移住者に担っていただく仕事や役割などを明確にして、移住関心層の志に訴えて移住につなげるものを地域地域で生み出して発信する取組）をテーマとした、興味関心をもたせるコンテンツなどを市町村等とともに充実させていきながら、また来なくなるサイトづくりを進めることで、新サイトを有料広告に頼らないオウンドメディア化を図り、新規ファンの獲得と固定ファンの定着化につなげていきたいと考えている。

3 本県の課題と課題解決の方向性

高知県は、高知県産業振興計画における年間移住者数の目標値、令和元年度の1,000組から令和5年度の1,300組へと、4年間で300組を上積みする計画を掲げており、新サイトはこの目標を達成するための中心的な役割を果たすものである。

毎年、毎年、継続的に移住者を確保していくためには、新規相談者を増やすことが重要であることから、新サイトでは、令和5年度の目標として以下を設定している。

新規相談者数（センターと市町村の対面・非対面の合計）：約4,400件⇒5,400件以上
 新サイトのアクセス数：年間70万セッション⇒年間90万セッション

これらの目標を達成するために、新サイトには質の高いコンテンツを継続的に充実していく必要があることから、コンテンツの制作を担う市町村や企業・団体等が簡単に利用でき、また、センターにおいても本格的な専門知識がなくとも情報発信やページの改善等が円滑に行っていける運用可能なシステムであることが重視される。

そのため、本業務で導入されるツール（コンテンツ管理システム（CMS）、顧客管理システム）は、一定の研修は必要であるものの、個人に頼ることなく組織として効果的・効率的に、かつ長期的な視点で運用が可能であることが重要である。また、新規相談者を継続的に確保するための運用ツールの選定と活用が重要となってくる。

現在の主な課題

【サイト管理者・サイト運営者】

課題①：現行サイトでは、トップページから下層ページの情報設計が最適されておらず、

センターが意図する導線が実現できていない。新サイトでは、多くの相談者との接点をもてるような、また、相談窓口への問い合わせを行動喚起させるような、潜在層を顕在層へと押し上げる機能や仕組みが求められる。また、移住確度の高い者は、確実に会員へと誘導していきたい。

課題②：現行サイトでは市町村紹介ページなど、モバイル対応になっていないページがある。また、市町村がコンテンツを更新できる仕組みがない。新サイトでは、市町村がコンテンツを簡単に更新できるようにしたい。

課題③：現行サイトのコンテンツ更新で html の記述するページが多く手間がかかることから、下層ページやランディングページを自力で作成できるようにしたい。

課題④：現在の顧客管理システムでは、会員の相談履歴や対応状況等を複数のセンター職員で管理できるが、履歴確認を確認する時には、一覧表示から各日時の項目ごとにクリックして個別に内容を確認しなければならない。また、顧客管理システムから顧客ごとに直性メール送信ができない、登録項目のカスタマイズが自由にできない、検索の精度が低いなど、システムによる業務改善の余地がある。新たな顧客管理システムでは、こうした不便さを解消するほか、事務の効率化を図ることができる機能を積極的に導入したい。

課題⑤：現行求人サイトでは、国が推進する地方創生移住支援事業・地方創生マッチング支援事業への対応において、複数の求人作成システムを使用している。サイト運営者・サイト利用者ともに手間がかかる部分が多く、新求人サイトでは、これらを統合し、使いやすいものにしたい。

【サイト利用者】

課題⑥：現行サイトの検索機能は精度が低く、また、市町村単位で仕事情報を一括検索できないなど、検索の利便性が低いことから、新サイトでは、自由度の高い検索機能を提供したい。

課題⑦：現行求人サイトでは、求人作成の必須項目が多く、カスタマイズも自由度が低いことから、新求人サイトでは、企業・団体にとって使いやすいものにしたい。

課題⑧：現行求人サイトでは、求職者向けと求人企業向けの情報が混在していることから、サイト構成を最適化したい。また、複数のフリーワード検索に対応するほか、検索精度も高めたい。

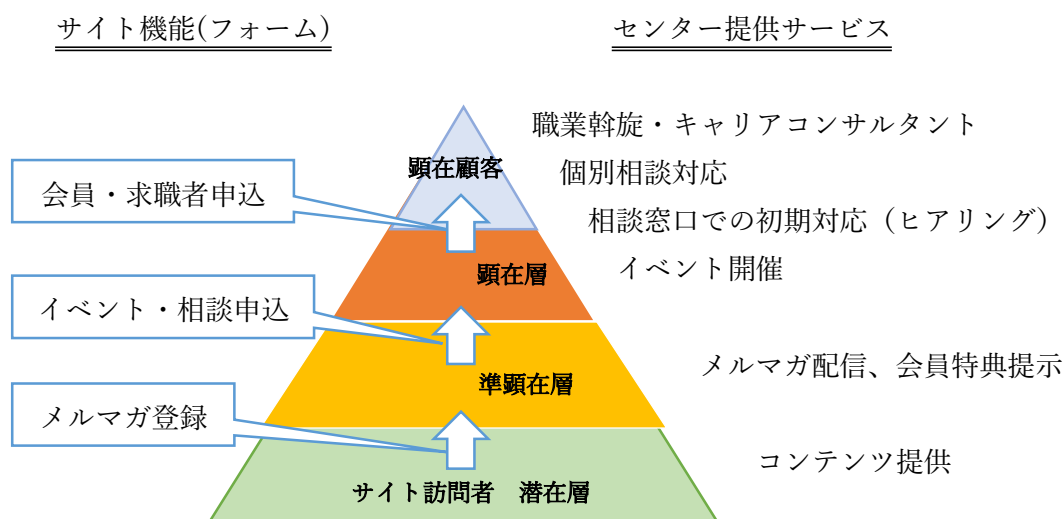
4 新サイトに求めるもの

(1) 現行業務の標準スキーム（現在の新規相談者の確保に向けた取組）

センターが提供するサービスや現行サイト及び現行求人サイトの機能等によって、センター相談窓口や会員登録へと誘導するプロセスの概要は以下のとおり。

- ・センターは、現行サイトのコンテンツとして、移住者インタビューやイベント情報、求人情報などを掲載。
- ・イベントは、東京や大阪などの都市部において、県内全市町村が出展する大規模な移住相談会、県内企業 50 社程度が求職者で行う合同説明会・面接会、教育、継業、プ

- ロ人材等ターゲット別の相談会を、センター主催で30件程度開催。また県内の市町村や産業分野の相談会等も開催され、現行サイトやメルマガ、web広告等で告知。
- ・現行サイトのメルマガ登録では、メールアドレス以外の個人情報として、氏名（必須）や電話番号（任意）を取得し、イベント情報や最新求人情報を月1～2回の一斉送信。
 - ・高知、東京、大阪に常設の相談窓口を設置し、問い合わせへの回答や個別相談対応にあたる。
 - ・顕在顧客（会員登録者）には、個別相談対応や職業斡旋等により希望の仕事や暮らしなどの情報を提供し、市町村や企業・団体との最適なマッチングにつなげる。
 - ・顕在層や準顕在層には、サイト内での情報提供やメルマガ配信を行い、相談窓口への接点をつくり、ヒアリング等を通じて、移住確度の高い者は、会員登録へ誘導。
 - ・Uターン関係者には、暮らしの情報が不要なことが多いと考えられることから、就職情報を配信し、求職者登録に誘導。



（２）新サイトに特に期待するもの

新サイトの構築においては、上記の現行業務の標準スキームの見直しなども含めつつ、市町村やセンターの相談窓口への相談を増やしていきたいと考えている。そこで、新サイトのKGIを以下のとおり設定する。

新サイトのKGI 新サイトからの相談申込数 年間2,600件

- ・センター相談窓口への相談申込 1,800(相談フォームからの申込完了数・会員登録数)
- ・市町村相談窓口への相談申込 800(相談フォームからの申込数)

この目標を実現するためには、特に、潜在層を顕在層へと押し上げていくことがポイントで、上記（１）の標準スキームに示したこれまでの取組を発展させるだけでなく、高知県への移住に向けた行動を喚起させる新たな機能や仕組みを設けたい。

受託者には、サイト訪問者の潜在ニーズを引き出す方法や、複数のターゲットを想定した

体験シナリオを描くなど、多様なニーズを持つサイト訪問者を新規相談につなげていくことのできる機能や仕組みについて、定量的な説明を含めて納得感が得られるような提案をいただきたい。

また、市町村の相談窓口につなげるためには、市町村のコンテンツを単に並べるだけでは効果が少なく、市町村の特徴やコンテンツを新サイト内で有効に活用していく機能や仕組みが必要と思われる。

以下に、相談申込のアクションにつながると想定される事例を示すが、あくまで参考情報であり、このとおりに実現することを必須としていない。また、「3 本県の課題と課題解決の方向性」及び上記（1）現行業務の標準スキームなども参考にしつつ、受託者には今後5年間を見通して活用できるような新サイトの提案を求めたい。

新サイトの新たな機能や仕組みの参考事例

事例①：新サイト内に自己診断サービスを用意し、サイト訪問者のニーズが「自然の中で子育て」となった場合、子育て支援が充実した市町村の情報が提示される。

事例②：顧客管理システムと連動して、メールマガジンの内容が相談者のニーズに応じて選択され、配信される。

事例③：顧客管理システムと連動して、サイト訪問履歴等をもとに、潜在的なニーズをふまえた暮らしと仕事がセットで表示される。

5 新サイトの設計に関する参考情報

（1）各ページの構成（主なもの）

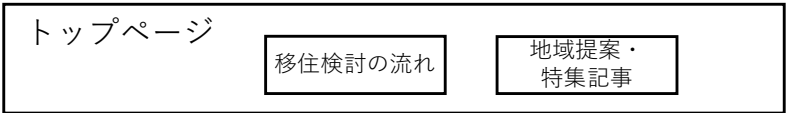
- ①移住者インタビュー（タイトル、職業、市町村名、内容 等）
- ②イベント募集（タイトル、日程・日時、場所、主催者、内容、定員、参加費、申込期限、問い合わせ先 等）
- ③空き家（所在地住所、家賃（賃貸）または売却額、築年数、間取り（面積・構造）、設備、駐車場の有無、問い合わせ先 等）
- ④仕事（タイトル、会社名、住所、内容、募集期間、問い合わせ先、会社情報 等）
- ⑤イベント申込（イベント募集のタイトル、氏名、電話番号、メールアドレス、自由記入欄、会員登録の希望有無 等）

（2）顧客管理システムのうち個別相談対応を管理するデータベース項目（主なもの）

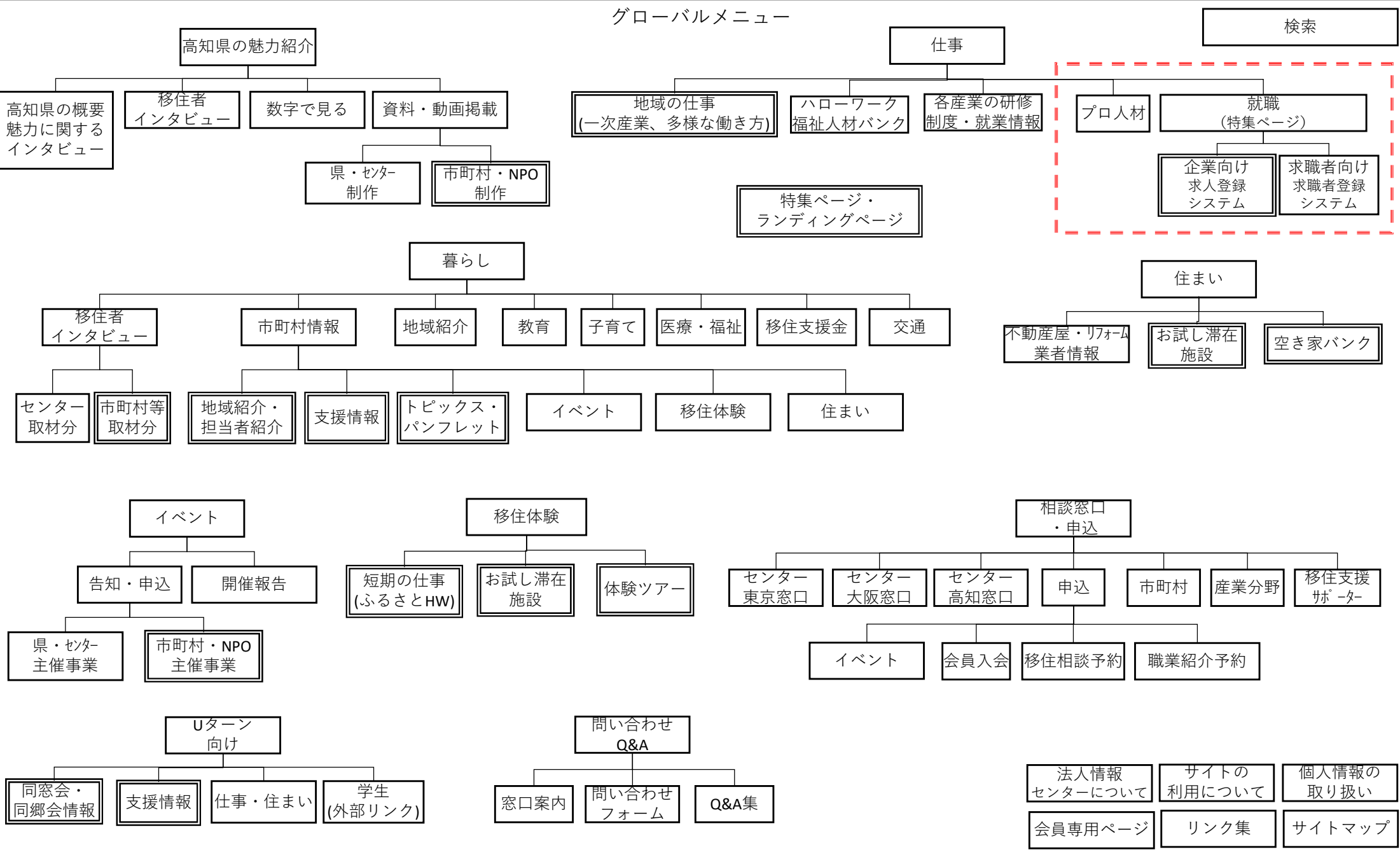
センター担当者名・対応方針・対応状況等、相談者の氏名・住所・連絡先・出身地・家族構成・移住予定人数・学歴・勤務状況等、認知経路、相談履歴、相談者の希望職種・希望所得・希望地域、会員・非会員の有無、求職者登録の有無 等

※上記項目は相談履歴に関するものであり、顧客管理システムにはこのほか、サイト訪問者への提案等に活用するための、新サイトのアクセスログなどを管理するデータベース領域を別途設定することも考えられる

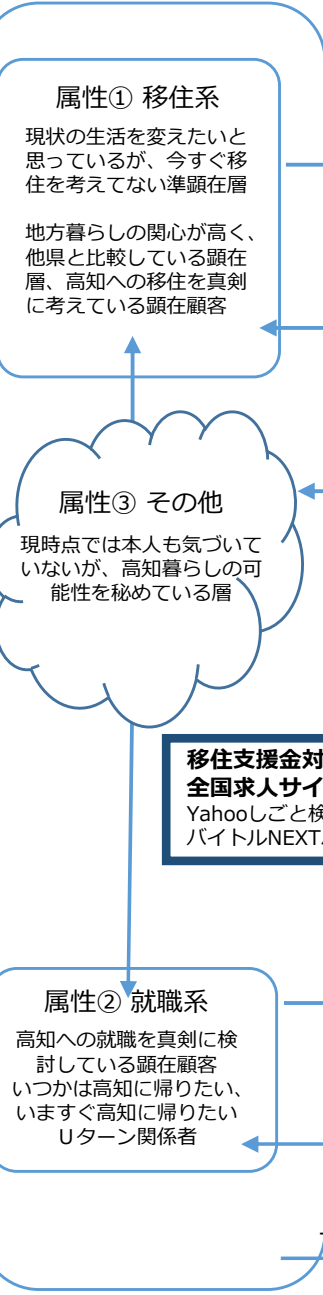
■ サイトコンテンツ例



※二重囲みは、市町村・NPO法人・専門分野等職員も作成・編集ができるページ（想定）
※破線囲みは、新求人サイトの領域



サイト利用者（閲覧者）



サイト訪問
相談・会員・イベント申込

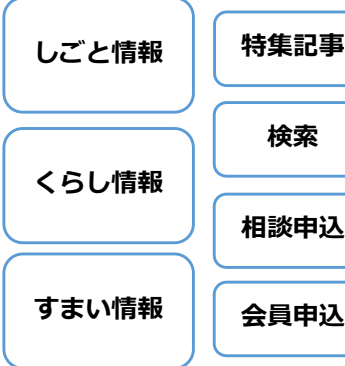
サービス提供

広告媒体等での発信

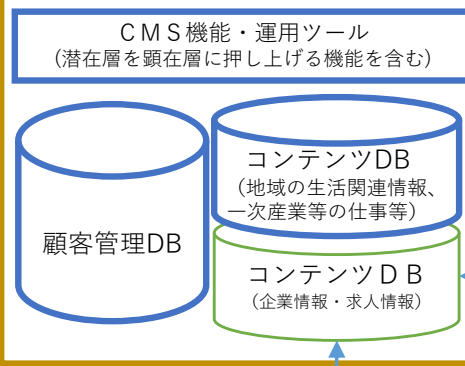
新サイト：移住就業ポータルサイト(CMS+顧客管理DB)

主な機能：新規相談者を継続的に確保できる機能や仕組み
【サイト利用者】自由度の高い検索サービス、訪問者に最適化した情報提案機能等
【サイト運営者】コンテンツ制作管理が容易で、高い情報発信力をもつサイト機能等
【サイト管理者】顧客情報の管理・活用、サイトの運用の日常業務の生産性向上等

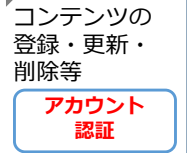
閲覧ページ



システム本体



管理ページ



API接続またはCSVファイル

API接続

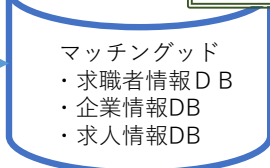
新無料職業紹介求人サイト
(現行の高知求人ネット)

閲覧ページ



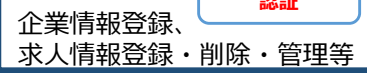
API接続

調達の範囲外



API接続

管理ページ



■人材紹介システム：株式会社ブレインラボ「マッチングッド」
求職者の登録、企業情報・求人情報の登録、マッチング機能、求人媒体との連携、法改正対応など

学生向けページ

サイト訪問

リンク

サイト管理者

調達の範囲

サイト運営者

サイト運営者
・センター

サイト運営補助者
・市町村
・専門機関等



ハローワーク、福祉人材バンクの求人情報

サイト利用者（求人者）

企業・団体等